



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社アクシス 上場取引所 東
 コード番号 4012 URL <https://www.axis-net.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 小倉 博文
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小菅 直哉 (TEL) 03-5501-1277
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,225	—	232	—	245	—	144	—
2020年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 144百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	36.15	33.30
2020年12月期第2四半期	—	—

2021年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

当社は、2021年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,975	1,949	65.5
2020年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,949百万円 2020年12月期 一百万円

2021年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,874	—	392	—	411	—	255	—	63.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年12月期第2四半期から連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

当社は、2021年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2021年12月期連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 株式会社ヒューマンソフト 、 除外 1社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年12月期 2 Q	4,100,000株	2020年12月期	4,100,000株
2021年12月期 2 Q	100,000株	2020年12月期	100,000株
2021年12月期 2 Q	4,000,000株	2020年12月期 2 Q	3,844,000株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じるとともに、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動の正常化が見込まれているものの、足元では、緊急事態宣言の再発令や延長により依然として先行きが不透明な状況が続いております。このような状況の中、日銀短観2021年6月調査によると、当社の売上の過半を占める業種である金融機関を含む全産業のソフトウェア投資額は2021年度計画が前年度比16.1%となっており、IT投資は持ち直され、増加していくことが期待されます。

このような当社を取り巻く環境の中、① 進化するデジタル社会において、成長性の高い技術・サービスを提供する、② より良い製品サービスを提供し、社会の中で存在価値の高い企業となる、③ 環境、社会、ガバナンス(ESG)を重視し、持続的成長を目指す、を中期事業方針として掲げ、顧客からの信頼を獲得し持続的にサービスを提供することができるよう、様々な要望に対応したサービス提供を行うとともに、デジタルトランスフォーメーション等のデジタル社会の変化をビジネスのチャンスとするために、多数の先端技術の吸収を積極的に行うとともに、顧客及びビジネスパートナー向け営業体制の見直し、業容拡大に向けた人材の積極採用等の施策を行ってまいりました。また、株式会社ヒューマンソフトを連結子会社化し、当社グループの事業領域の多角化を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,225,612千円、営業利益は232,062千円、経常利益は245,375千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は144,616千円となりました。

なお、当社は、システムインテグレーション事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

事業のサービス別売上高については、以下の通りです。

a システムインテグレーション事業

当第2四半期連結累計期間においては、依然としてIT技術者不足の状況にあるため、コロナ禍における採用環境の変化に対応した採用活動を積極的に取り組むと同時に、ビジネスパートナーとの協力関係の強化及び新規のビジネスパートナーの開拓を行うなど、さらなる受注拡大に向けた体制構築を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,099,061千円となりました。

b クラウドサービス事業

当第2四半期連結累計期間においては、積極的な広告宣伝を行い、クラウドサービス事業の認知度を上げることにより新規契約を順調に獲得し、累計契約台数が着実に増加しております(2021年6月末時点の累計契約台数7,929台)。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は126,550千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

財政状態は次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、2,975,278千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金1,609,421千円、売掛金704,626千円、のれん291,621千円であります。

(負債)

負債合計は、1,026,192千円となりました。その主な内訳は、買掛金145,745千円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金141,666千円、退職給付に係る負債200,351千円であります。

(純資産)

純資産合計1,949,086千円となりました。その主な内訳は、資本金74,610千円、資本剰余金60,966千円、利益剰余金1,825,788千円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、1,609,421千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、140,947千円となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上244,295千円、賞与引当金の増加額105,922千円、売上債権の増加額59,160千円、法人税等の支払額93,293千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、243,187千円となりました。その主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出265,624千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、3,254千円となりました。これは、長期借入による収入150,000千円、長期借入金の返済による支出76,143千円、社債の償還による支出70,603千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年5月20日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,609,421
売掛金	704,626
商品	21,371
貯蔵品	8,350
その他	42,963
貸倒引当金	△631
流動資産合計	2,386,101
固定資産	
有形固定資産	39,593
無形固定資産	
のれん	291,621
その他	11,059
無形固定資産合計	302,681
投資その他の資産	
その他	248,038
貸倒引当金	△1,136
投資その他の資産合計	246,901
固定資産合計	589,176
資産合計	2,975,278
負債の部	
流動負債	
買掛金	145,745
1年内返済予定の長期借入金	50,004
未払法人税等	136,337
賞与引当金	121,356
その他	280,234
流動負債合計	733,677
固定負債	
長期借入金	91,662
退職給付に係る負債	200,351
その他	501
固定負債合計	292,515
負債合計	1,026,192
純資産の部	
株主資本	
資本金	74,610
資本剰余金	60,966
利益剰余金	1,825,788
自己株式	△10,375
株主資本合計	1,950,989
その他の包括利益累計額	
退職給付に係る調整累計額	△1,903
その他の包括利益累計額合計	△1,903
純資産合計	1,949,086
負債純資産合計	2,975,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	2,225,612
売上原価	1,590,620
売上総利益	634,991
販売費及び一般管理費	402,929
営業利益	232,062
営業外収益	
受取利息	8
助成金収入	12,630
その他	1,726
営業外収益合計	14,365
営業外費用	
支払利息	324
社債償還損	603
その他	124
営業外費用合計	1,052
経常利益	245,375
特別損失	
関係会社清算損	1,080
特別損失合計	1,080
税金等調整前四半期純利益	244,295
法人税、住民税及び事業税	130,496
法人税等調整額	△30,816
法人税等合計	99,679
四半期純利益	144,616
親会社株主に帰属する四半期純利益	144,616

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	144,616
その他の包括利益	
退職給付に係る調整額	166
その他の包括利益合計	166
四半期包括利益	144,782
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	144,782

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	244,295
減価償却費	10,042
のれん償却額	7,886
貸倒引当金の増減額(△は減少)	183
受取利息	△8
支払利息	324
為替差損益(△は益)	△797
関係会社清算損益(△は益)	1,080
売上債権の増減額(△は増加)	△59,160
たな卸資産の増減額(△は増加)	△255
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,082
未払金の増減額(△は減少)	3,238
賞与引当金の増減額(△は減少)	105,922
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,212
その他	△73,262
小計	234,616
利息の受取額	8
利息の支払額	△385
法人税等の支払額	△93,293
営業活動によるキャッシュ・フロー	140,947
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,179
有形固定資産の売却による収入	46,780
無形固定資産の取得による支出	△4,500
敷金及び保証金の回収による収入	799
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△265,624
その他	△18,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△243,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	150,000
長期借入金の返済による支出	△76,143
社債の償還による支出	△70,603
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	797
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△98,188
現金及び現金同等物の期首残高	1,707,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,609,421

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2021年5月20日開催の取締役会決議に基づき、2021年7月1日付で株式分割を行っております。

(1) 株式分割の目的

株式分割を行い、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様にとって投資しやすい環境を整えることで、当社株式の流動性の向上とより一層の投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2021年6月30日最終の株主名簿に記載された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,050,000株
株式分割により増加する株式数	2,050,000株
株式分割後の発行済株式総数	4,100,000株
株式分割後の発行可能株式総数	16,000,000株

③ 分割の日程

基準日公告日	2021年6月15日
基準日	2021年6月30日
効力発生日	2021年7月1日